



聴覚障害教育
関連用語コース
長崎県立ろう学校
自立活動部
2025.10 vol.29



これってどんな意味？「オーディオメータ」

「オーディオメータ」とは、聴力を測るための機械のことです。スピーカーやヘッドホンを通してプッププツやプーという音が出て、被検者が聴こえる最小の音量を測ります。オーディオメータでは、音の大きさをデシベル(dB)で、音の高低をヘルツ(Hz)で表します。片耳難聴(一側性)の場合は、聞こえる側にサーという音でマスキングを行い聞こえにくい側を測定します。

一般の学校では、学校保健安全法に基づく1000Hz(30dB)と4000Hz(25dB)の二つの測定が基本となっていることから、「選別聴力検査用のオーディオメータ」を備えている学校が多いと思います。

本校のオーディオメータでは、七つの音の高さ(周波数)のより詳しい聴力レベル(−10~130dB)を測定します。聴力の結果をパソコンと接続してオーディオグラムというグラフで表示します。



スピーカー 0dB~



気導受話器 −10dB~
(ヘッドホン)



骨導受話器 −10dB~
(骨導用ヘッドホン)

乳幼児は、拡声器に似た機械「新生児用オーディオメータ」で聴力を測定する場合があります。後方から音を聞かせて反応の様子や振り向きの方角を調べることができます。



調べることができる周波数と聴力レベル

周波数[Hz] : 500 1000 2000 3000
聴力レベル[dB] : 50 60 70 80

〔 新生児用オーディオメータ 〕 リオンTB-03